

CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 22/July/2014/vol.306



愛知のミニセルパチコ（愛知県産）

Mini wild rocket, Mini selvatico (red veining on the leaf)

小さいサイズの野菜は数あれど、ただ新芽を摘むのではなく、なるべくフルサイズの姿のイメージを保持したままのミニサイズの野菜となると、生産にも技術とセンスが大いに必要となります。特に葉物のミニ野菜は苦労も多く、単純に若く小さなうちに収穫したものとは別の次元の野菜作りとなります。この赤い葉脈が美しい小さいセルパチコは、長さがほんの8~9センチの可愛い大きさで、写真のように10本が小さい束としてまとめられて出荷されています。よく見ると葉の切れ込みも素晴らしく、まるでセルパチコの成体の姿と変わらないクオリティを擁しています。それもそのはずで、生産者は愛知県で伝統的な和食向けの促成小物野菜を作っている農家、高級和食材として昔から作られている板貝割、鶯菜の生産者として知られている存在です。長い間培ってきた小さな野菜を作り上げる技術もあって、近年、極小サイズの青梗菜を生産し、また新たなチャレンジとしてこのミニセルパチコの栽培を始めました。まさに和の文化と技術の中から生み出された芸術品、新たなジャンルの西洋野菜としてデビューです。